

提供日 2022/03/01  
 タイトル 景気動向指数は、下げ止まりを示す～静岡県景気動向指数（令和3年12月分）～  
 担当 知事直轄組織 デジタル戦略局データ活用推進課  
 連絡先 分析班  
 TEL 054-221-2242



(要旨)

令和3年12月分

1 景気の基調判断

- ・景気動向指数（CI一致指数）は、下げ止まりを示している。
- ・寄与度については、生産関係の輸入通関実績（清水港分）がプラスに寄与している。また、人件費比率（製造業）（逆サイクル）、鉱工業生産指数（総合）がマイナスに寄与している。

2 CIの各指数の変化

- ・一致指数は、0.1ポイント上昇（3か月連続で上昇）
- ・先行指数は、2.5ポイント上昇（3か月連続で上昇）
- ・遅行指数は、0.3ポイント下降（10か月ぶりに下降）

(注1) CI(コンポジット・インデックス)…主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測定することを目的としている。指標ごとの変化量を平均し、累積した上で基準年（平成27年）を100とした指数で表す。

(参考)直近6か月間の景気動向(本県及び全国)

年	月	景気動向指数		参考:日本銀行	
		静岡県	内閣府	最近の静岡県金融経済の動向 (日銀静岡支店)	地域経済報告 (日銀本店)
R3	12月	下げ止まり	足踏み	持ち直している	10月の東海地方は、「持ち直しの動きが一服している」
	11月	下げ止まり	足踏み	持ち直している	
	10月	悪化	足踏み	持ち直している	
	9月	悪化	足踏み	持ち直しの兆しが見られる	7月の東海地方は、「持ち直している」
	8月	悪化	改善	足踏み状態にある	
	7月	上方への局面変化	改善	足踏み状態にある	

(概要)

1 直近6か月間のCI一致指数の推移

CI一致指数	単月 (前月差)	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月
		97.6	95.6	94.2	98.3	100.1	100.2
3か月後方移動平均 (前月差)	△ 0.6	△ 2.0	△ 1.4	4.1	1.8	0.1	
7か月後方移動平均 (前月差)	97.2	97.1	95.8	96.0	97.5	99.5	
97.8	97.8	97.7	97.7	97.4	97.1	97.7	
0.3	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.6	
CI先行指数	単月 (前月差)	109.5	107.8	103.3	108.9	109.7	112.2
3.8	△ 1.7	△ 4.5	5.6	0.8	2.5		
CI遅行指数	単月 (前月差)	100.6	101.0	101.7	101.8	102.0	101.7
0.1	0.4	0.7	0.1	0.2	△ 0.3		

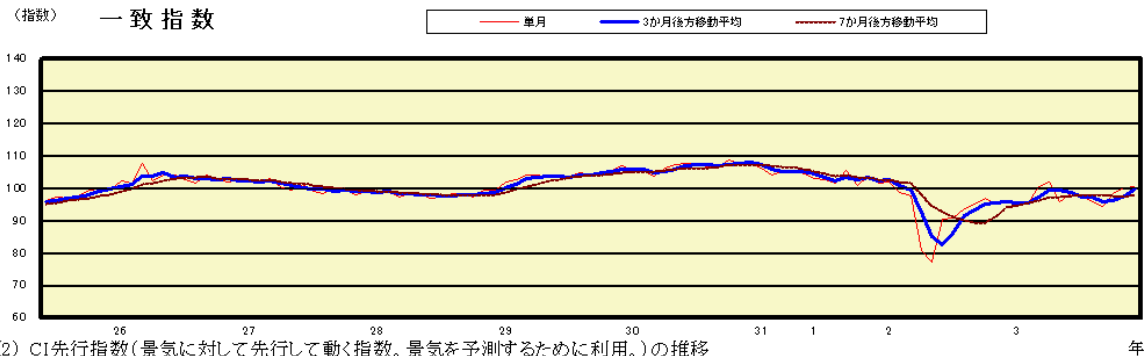
2 CI一致指数単月の前月差(0.1ポイント)に対する寄与度

寄与度がプラスの指標	寄与度①	寄与度がマイナスの指標	寄与度②	①+②
輸入通関実績(清水港分)	0.96	人件費比率(製造業)(逆サイクル)	△ 0.56	0.1
第3次産業活動指数(総合)	0.27	鉱工業生産指数(総合)	△ 0.43	
有効求人人数(除学卒パート)	0.13	百貨店・スーパー販売額	△ 0.19	
		鉱工業消費財出荷指数	△ 0.04	

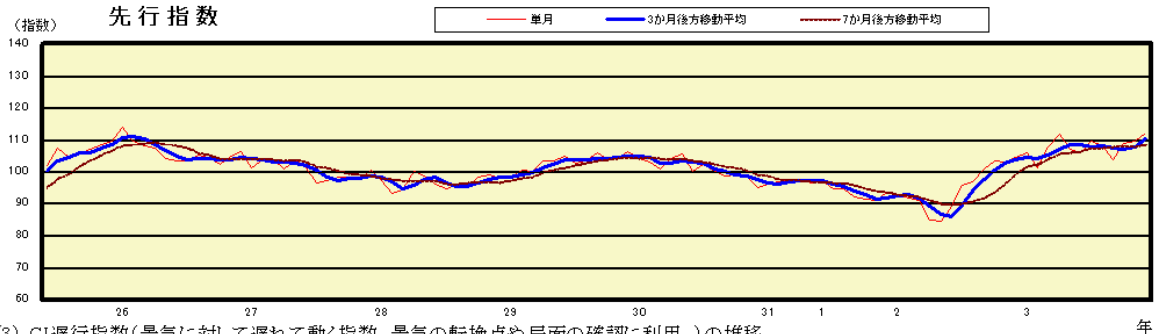
### 3 CI各系列の年別推移

対象期間：平成25年6月から令和3年12月  
 基準年：平成27年

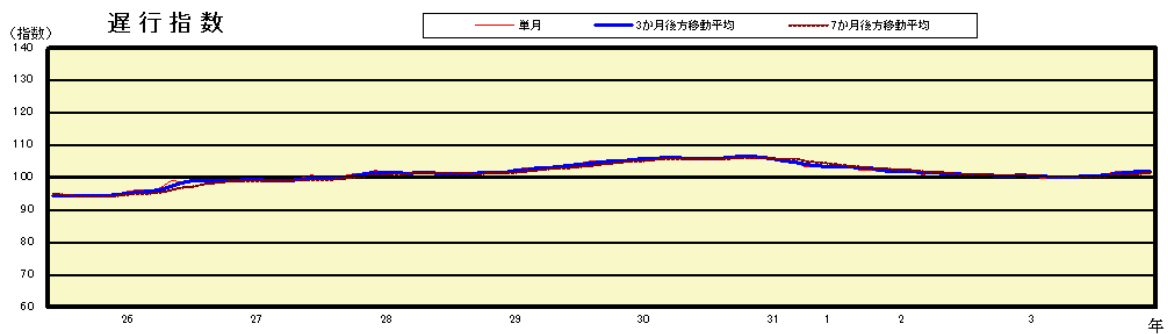
(1) CI一致指数(景気に対してほぼ一致して動く指数。景気の現状把握に利用。)の推移



(2) CI先行指数(景気に対して先行して動く指数。景気を予測するために利用。)の推移



(3) CI遅行指数(景気に対して遅れて動く指数。景気の転換点や局面の確認に利用。)の推移



### 4 基調判断の基準と定義

基調判断	定義	基準
①改善	景気拡張の可能性が高いことを示す。	・原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が上昇 ・当月の前月差の符号がプラス
②足踏み	景気拡張の動きが足踏み状態になっている可能性が高いことを示す。	・3か月後方移動平均(前月差)の符号がマイナスに変化し、マイナス幅(1か月、2か月または3か月の累積)が1標準偏差分以上 ・当月の前月差の符号がマイナス
③局面変化	上方への局面変化	・7か月後方移動平均(前月差)の符号がプラスに変化し、プラス幅(1か月、2か月または3か月の累積)が1標準偏差分以上 ・当月の前月差の符号がプラス
	下方への局面変化	・7か月後方移動平均(前月差)の符号がマイナスに変化し、マイナス幅(1か月、2か月または3か月の累積)が1標準偏差分以上 ・当月の前月差の符号がマイナス
④悪化	景気後退の可能性が高いことを示す。	・原則として3か月以上連続して、3か月後方移動平均が下降 ・当月の前月差の符号がマイナス
⑤下げ止まり	景気後退の動きが下げ止まっている可能性が高いことを示す。	・3か月後方移動平均(前月差)の符号がプラスに変化し、プラス幅(1か月、2か月または3か月の累積)が1標準偏差分以上 ・当月の前月差の符号がプラス

### 標準偏差

前月差	2.75
3か月後方移動平均	1.51
7か月後方移動平均	0.92

注：①～⑤に該当しない場合は、前月の基調判断を継続する。

詳しくは「統計センターしずおか」(<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>)を御覧ください。

